

年

組

番氏名

次の文の——線を引いた部分の漢字が正しければ○を、間違っていれば正しい漢字に直して、下の□に書きましょう。

例 友達と 駅で 合う。

- ① 強い相手に 協力して 立ち向かう。
- ② 午後から 会議を 再会する。
- ③ 教室の 測面に 標語をはった。
- ④ 勉強したので 二学期の成績が 上がった。
- ⑤ 自動車の 構造は とても複雑だ。
- ⑥ 友達から 鉛筆を 借りた。
- ⑦ 妹の がんばりに 関心した。
- ⑧ 学校で 理科の実研を 行った。
- ⑨ 野球の試合で となりの学校に 大勝する。
- ⑩ 公民館で パソコンについて 公義を受けた。

解答

- ① 強い相手に 協力して 立ち向かう。
- ② 午後から 会議を 再開する。
- ③ 教室の 側面に 標語をはった。
- ④ 勉強したので 二学期の成績が 上がった。
- ⑤ 自動車の 構造は とても複雑だ。
- ⑥ 友達から 鉛筆を 借りた。
- ⑦ 妹の がんばりに 感心した。
- ⑧ 学校で 理科の実験を 行った。
- ⑨ 野球の試合で となりの学校に 大勝する。
- ⑩ 公民館で パソコンについて 講義を受けた。

○

再開

側面

成績

構造

○

感心

実験

○

講義

年

組

番氏名

漢字の成り立ちには、次のようなものがあります。

- ア 物の形をかたどった漢字（象形文字）
- イ 意味を図形や記号で表した漢字（指示文字）
- ウ 漢字の意味を組み合わせた漢字（会意文字）
- エ 意味を表す部分と音を表す部分とを組み合わせた漢字（形声文字）

次の①～⑳の漢字の成り立ちとしてもっともふさわしいものを、右のア～エから一つ選び、漢字の下の（ ）に書きなさい。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ① 川（ ） | ② 一（ ） | ③ 銅（ ） | ④ 孫（ ） |
| ⑤ 耳（ ） | ⑥ 上（ ） | ⑦ 品（ ） | ⑧ 線（ ） |
| ⑨ 末（ ） | ⑩ 加（ ） | ⑪ 人（ ） | ⑫ 飯（ ） |
| ⑬ 日（ ） | ⑭ 矢（ ） | ⑮ 魚（ ） | ⑯ 清（ ） |
| ⑰ 二（ ） | ⑱ 間（ ） | ⑲ 管（ ） | ⑳ 想（ ） |

解答

- | | |
|-----|-----|
| ① 川 | (ア) |
| ② 一 | (イ) |
| ③ 銅 | (エ) |
| ④ 孫 | (ウ) |
| ⑤ 耳 | (ア) |
| ⑥ 上 | (イ) |
| ⑦ 品 | (ウ) |
| ⑧ 線 | (エ) |
| ⑨ 末 | (イ) |
| ⑩ 加 | (ウ) |
| ⑪ 人 | (ア) |
| ⑫ 飯 | (エ) |
| ⑬ 日 | (ア) |
| ⑭ 矢 | (ア) |
| ⑮ 魚 | (ア) |
| ⑯ 清 | (エ) |
| ⑰ 二 | (イ) |
| ⑱ 間 | (ウ) |
| ⑲ 管 | (エ) |
| ⑳ 想 | (エ) |

年

組

番氏名

漢字の成り立ちには、次のようなものがあります。

ア 物の形をかたどった漢字（象形文字）

イ 意味を図形や記号で表した漢字（指示文字）

ウ 漢字の意味を組み合わせた漢字（会意文字）

エ 意味を表す部分と音を表す部分とを組み合わせた漢字（形声文字）

次の①～⑳の漢字の成り立ちとしてもっともふさわしいものを、右のア～エから一つ選び、漢字の下の（ ）に書きなさい。

① 馬（ ）

② 三（ ）

③ 鳴（ ）

④ 館（ ）

⑤ 粉（ ）

⑥ 山（ ）

⑦ 明（ ）

⑧ 動（ ）

⑨ 河（ ）

⑩ 門（ ）

⑪ 火（ ）

⑫ 板（ ）

⑬ 手（ ）

⑭ 週（ ）

⑮ 信（ ）

⑯ 下（ ）

⑰ 際（ ）

⑱ 林（ ）

⑲ 職（ ）

⑳ 象（ ）

解答

- | | |
|-----|-----|
| ① 馬 | (ア) |
| ② 三 | (イ) |
| ③ 鳴 | (ウ) |
| ④ 館 | (エ) |
| ⑤ 粉 | (エ) |
| ⑥ 山 | (ア) |
| ⑦ 明 | (ウ) |
| ⑧ 動 | (ウ) |
| ⑨ 河 | (エ) |
| ⑩ 門 | (ア) |
| ⑪ 火 | (ア) |
| ⑫ 板 | (エ) |
| ⑬ 手 | (ア) |
| ⑭ 週 | (エ) |
| ⑮ 信 | (ウ) |
| ⑯ 下 | (イ) |
| ⑰ 際 | (エ) |
| ⑱ 職 | (エ) |
| ⑳ 象 | (ア) |

年

組

番氏名

次の文の——線を引いた部分を、漢字と送り仮名で、下のに書きましよう。

① 冬の山に 雪が ふりつもる。

② 会社は この二年間 損失をかさねた。

③ 花だんに うつくしい 花が咲いている。

④ 彼の 態度は とてもいさましい。

⑤ 作文で 行を あらためる。

⑥ あのときの 父の気持ちを たしかめたい。

⑦ この次は 新しい方法を こころみたい。

⑧ いやな頼みごとを はっきりと ことわる。

⑨ 試合に備えて 体力を 十分にやしなう。

⑩ パーティーに したしい友人を 招く。

解答

- ① 冬の山に 雪が 降りつもる。
- ② 会社は この二年間 損失をかさねた。
- ③ 花だんに うつくしい 花が咲いている。
- ④ 彼の 態度は とてもいさましい。
- ⑤ 作文で 行を あらためる。
- ⑥ あのときの 父の気持ちを たしかめたい。
- ⑦ この次は 新しい方法を こころみたい。
- ⑧ いやな頼みごとを はっきりと ことわる。
- ⑨ 試合に備えて 体力を 十分にやしなう。
- ⑩ パーティーに したしい友人を 招く。

積もる

重ねた

美しい

勇ましい

改める

確かめたい

試みたい

断る

養う

親しい

年
組
番氏名

漢字三文字の熟語には、一二文字の熟語の上に、「あとに続く言葉を打ち消す漢字」

(不・非・未・無)をつけてできたものがあります。

次の①～⑩の漢字に、「あとに続く言葉を打ち消す漢字」を一つつけ、三文字の熟語を作り下の□に書きなさい。

例 違反 □ 無違反

① 完成 □ ② 許可 □

③ 関心 □ ④ 可能 □

⑤ 課税 □ ⑥ 満足 □

⑦ 事故 □ ⑧ 自然 □

⑨ 解決 □ ⑩ 公式 □

解答

例

違反

無違反

①

完成

未完成

②

許可

無許可

③

關心

無關心

④

可能

不可能

⑤

課稅

非課稅

⑥

滿足

不滿足

⑦

事故

無事故

⑧

自然

不自然

⑨

解決

未解決

⑩

公式

非公式

年

組

番氏名

次の文の——線を引いた漢字の読み方を、下の□□に書きましょう。

- ① この川で魚つりをするには許可がある。
- ② 日本とアメリカで貿易をする。
- ③ 地球温暖化の原因は二酸化炭素だ。
- ④ この道は自動車の往来が激しい。
- ⑤ 試験の前に精神を集中させる。
- ⑥ この件には疑いの余地はない。
- ⑦ 友達と学級新聞の編集をする。
- ⑧ 創作した物語に仮題をつける。
- ⑨ 胃腸の調子が悪くて病院に行く。
- ⑩ この間読んだ本の感想を述べる。

解答

- ① この川で魚つりをするには許可がいる。
- ② 日本とアメリカで貿易をする。
- ③ 地球温暖化の原因は二酸化炭素だ。
- ④ この道は自動車の往来が激しい。
- ⑤ 試験の前に精神を集中させる。
- ⑥ この件には疑いの余地はない。
- ⑦ 友達と学級新聞の編集をする。
- ⑧ 創作した物語に仮題をつける。
- ⑨ 胃腸の調子が悪くて病院に行く。
- ⑩ この間読んだ本の感想を述べる。

きよか

ぼうえき

にさんかたんそ

おうらい

せいしん

よち

へんしゅう

かだい

いちよう

の

年

組

番氏名

次の文の——線を引いた漢字の読み方を、下のに書きましょう。

- ① 一昨日、千葉で暴風雨が観測された。
- ② 会社に損失が生じたことが判明した。
- ③ 千葉さんが家で留守番をする。
- ④ つばめは益鳥といわれている。
- ⑤ 警察が犯罪の捜査をする。
- ⑥ 加藤清正が虎を退治した。
- ⑦ 森林を伐採する。
- ⑧ 日本での綿花の栽培はわずかである。
- ⑨ ヒマワリが太陽に照らされている。
- ⑩ 働くだけでなく休息も必要である。

解答

- ① 一昨日、千葉で暴風雨が観測された。
- ② 会社に損失が生じたことが判明した。
- ③ 千葉さんが家で留守番をする。
- ④ つばめは益鳥といわれている。
- ⑤ 警察が犯罪の捜査をする。
- ⑥ 加藤清正が虎を退治した。
- ⑦ 森林を伐採する。
- ⑧ 日本での綿花の栽培はわずかである。
- ⑨ ヒマワリが太陽に照らされている。
- ⑩ 働くだけでなく休息も必要である。

ぼうふうう

そんしつ

るすばん

えきちょう

はんざい

たいじ

ばっさい

めんか

て

ひつよう

特別な読み方をする漢字

五年

年

組

番氏名

次の文の——線を引いた漢字の読み方を、下のに書きましょう。

① 弟と七夕のかざりつけをする。

② 山の中に清水がわいていた。

③ 近くの河原でバーベキューをした。

④ 妹が遊園地で迷子になった。

⑤ 家の近くの八百屋で買い物をした。

⑥ 十二月二十日は母の誕生日だ。

⑦ 私の母はいつも眼鏡をかけている。

⑧ ぼくの好きな果物はパイナップルだ。

⑨ 学校を欠席したのは二人だった。

⑩ 明日は日曜日で学校はお休みだ。

解答

- ① 弟と七夕のかざりつけをする。
- ② 山の中に清水がわいていた。
- ③ 近くの河原でバーベキューをした。
- ④ 妹が遊園地で迷子になった。
- ⑤ 家の近くの八百屋で買い物をした。
- ⑥ 十二月二十日は母の誕生日だ。
- ⑦ 私の母はいつも眼鏡をかけている。
- ⑧ ぼくの好きな果物はパイナップルだ。
- ⑨ 学校を欠席したのは二人だった。
- ⑩ 明日は日曜日で学校はお休みだ。

たなばた

しみず

かわら

まいご

やおや

はつか

めがね

くだもの

ふたり

あす・あした

年

組

番氏名

次のことわざの意味としてもつともふさわしいものを、後のア～エから一つ選び、下の に書きましよう。

① 背に腹はかえられぬ

- ア 重要なことのために、多少の犠牲ぎせいをはらってもしかたがないということ
- イ 何かをするときに、あせるとかえって失敗することが多くなるということ
- ウ 勝ちを相手に譲ゆずっても、人と争わない方がかえって有利になるということ
- エ 自分より強い相手には、反対せずに言うとおりにした方がよいということ

② 口は災いのもと

- ア 悪いうわさは、すぐに色々な人に知れ渡わたるということ
- イ 大事なことを言っても少しもきき目がないうこと
- ウ 自分に都合つじょうの悪いことを人に知られぬようにすること
- エ うかつなことを言うと、不幸の原因になるということ

③ 縁の下の力持ち

- ア 自分の身近な手元にあるので気が付かないということ
- イ 人の知らないところで、他人のために力をつくすこと
- ウ 心配するより実際にやってみた方が簡単だということ
- エ 少しのものでも積もり積もれば大量になるということ

解答

① 背に腹はかえられぬ

ア

- ア 重要なことのために、多少の犠牲ぎせいをはらってもしかたがないということ
- イ 何かをするときに、あせるとかえって失敗することが多くなるということ
- ウ 勝ちを相手に譲ゆずっても、人と争わない方がかえって有利になるということ
- エ 自分より強い相手には、反対せずにおりにした方がよいということ

② 口は災いのもと

エ

- ア 悪いうわきは、すぐに色々な人に知れ渡るということ
- イ 大事なことを言っても少しもきき目が無いということ
- ウ 自分に都合つじょうの悪いことを人に知られぬようにすること
- エ うかつなことを言うと、不幸の原因になるということ

③ 縁の下の力持ち

イ

- ア 自分の身近な手元にあるので気が付かないということ
- イ 人の知らないところで、他人のために力をつくすこと
- ウ 心配するより実際にやってみた方が簡単だということ
- エ 少しのものでも積もり積もれば大量になるということ

年

組

番氏名

次の①～⑤のことわざの「」にはある動物が入ります。入る動物としてもつともふさわしいものを、後のア～カから選び、下の□に書きましよう。

① 泣き面に「」

② 「」の耳に念仏

③ 「」も歩けば棒ぼうに当たる

④ 「」に真珠しんじゆ

⑤ 井の中の「」大海を知らず

⑥ 「」の滝のぼり

⑦ 「」も木から落ちる

⑧ とらぬ「」の皮算用かわざんよう

⑨ 「」に小判

⑩ やぶをつついて「」を出す

ア 豚(ぶた) イ 蛙(かわず) ウ 猿(さる) エ 狸(たぬき)

オ 蛇(へび) カ 鯉(こい) キ 虎(とら) ク 猫(ねこ)

ケ 犬(いぬ) コ 蜂(はち) サ 馬(うま) シ 鼠(ねずみ)

解答

- ① 泣き面なみに「 」
(悪いことが起きているのに、さらに悪いことが起きるということ)
- ② 「 」の耳に念仏
(聞こうとしない人にくら注意してもなんのきき目もないこと)
- ③ 「 」も歩けば棒ぼうに当たる
(出しゃばるとかえって災いにあうこともあるということ)
- ④ 「 」に真珠しんじゆ
(価値のわからない者に、どんな高価なものを与えても何の役にも立たないこと)
- ⑤ 井の中の「 」 大海を知らず
(自分のせまい見方や考え方にとらわれ、得意になっている世間知らずの人のこと)
- ⑥ 「 」の滝のぼり
(人が目的達成のために一気に歩み進むこと)
- ⑦ 「 」も木から落ちる
(どんな名人でも、時には失敗することがあるということ)
- ⑧ とらぬ「 」の皮算用かわざんよう
(どうなるかわからないことをあてにして、計画をたてること)
- ⑨ 「 」に小判
(値打ちのわからない者には何の役にもたたないということ)
- ⑩ やぶをつついて「 」を出す
(せんさくし過ぎて、かえって自分の不利になることを引き出してしまうこと)
- コ
- サ
- ケ
- ア
- イ
- カ
- ウ
- エ
- ク
- オ

年

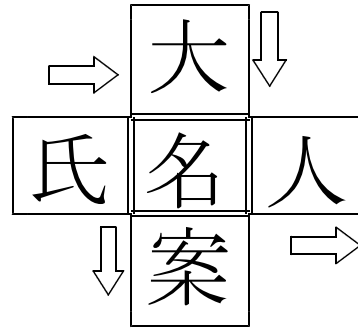
組

番氏名

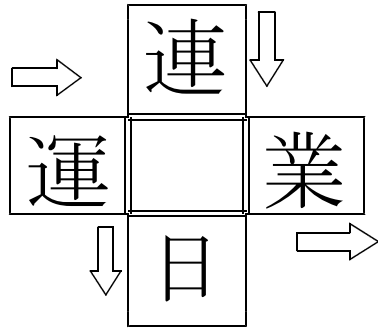
例にならって、に漢字を一字入れて、二字の熟語を四つ作りなさい。矢印に従って読みますが、読み方は音でも訓でもかまいません。

大名・名案・氏名・名人

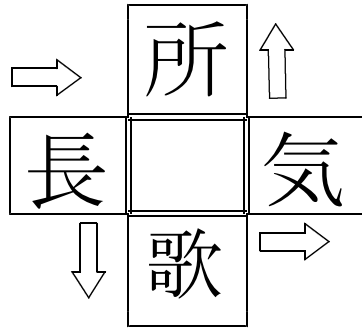
例



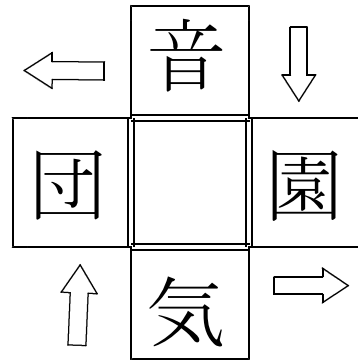
2



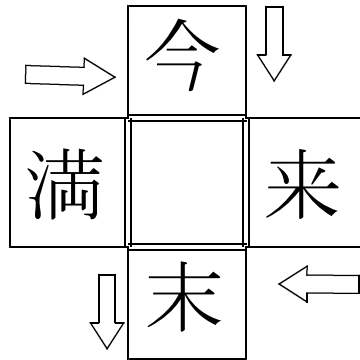
4



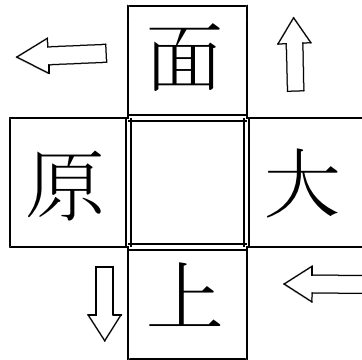
1



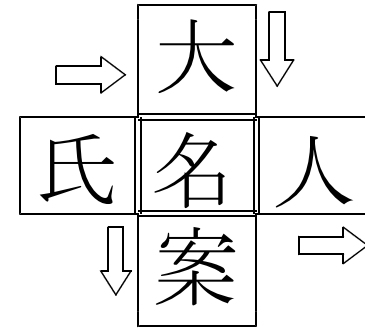
3



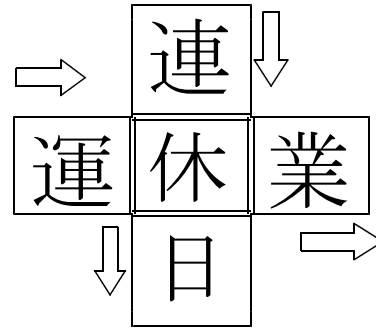
5



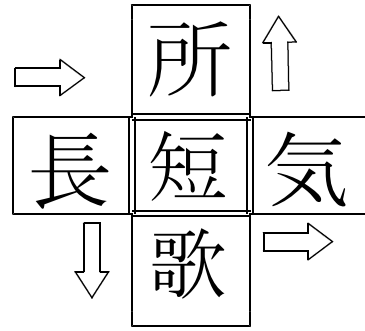
例



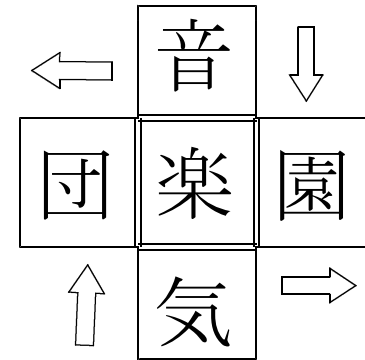
2



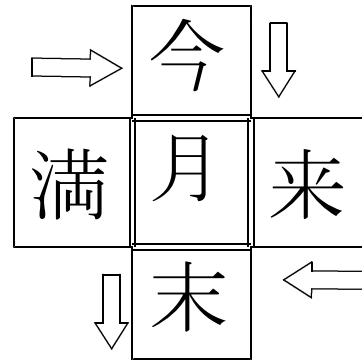
4



1



3



5

